

## 現状と課題

生活様式が多様化する中で、資源やエネルギーの大量消費が加速され、大気汚染や水質汚濁などの改善傾向が横ばいとなり、生活環境では近隣型トラブルが発生しています。

大気汚染や騒音、振動などの自動車公害は、国道176号など環境基準を達成できていない地点もあり、今後、自動車利用者に対し、公共交通機関の利用促進、ノーマイカーデーの実施などの普及啓発、低公害車導入への助成などを継続して行っていく必要があります。

水質については、下水道の整備や事業場排水の規制などにより改善が見られ、ダイオキシン類に関する調査では、各調査地点において環境基準値以下となっています。

建築工事の騒音・振動、飲食店等からの騒音、夜間の花火騒音などによる生活型・近隣型環境問題が増加し、パチンコ店や風俗営業等に関する付近住民との紛争も生じています。

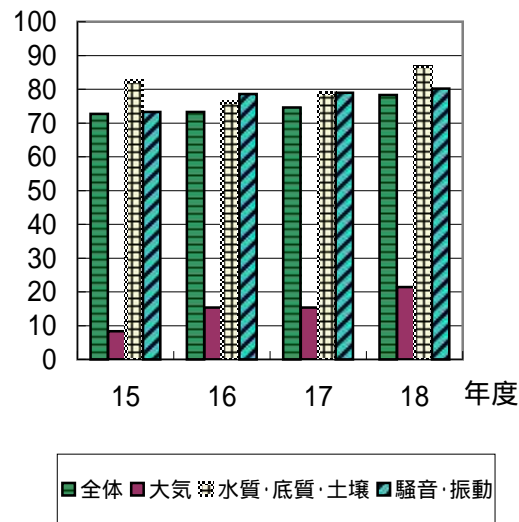
感染症の媒体となる衛生害虫やねずみの発生は減少していますが、ハチ類、ダニ等の問い合わせは増えています。また、不法投棄等による環境の悪化が見受けられます。

内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）や複合汚染など、基準値が明確でない有害化学物質に関する情報入手や対応策の検討が求められています。

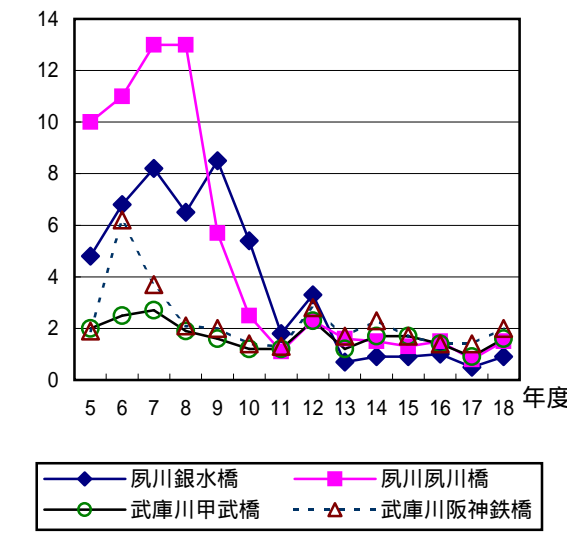
地域住民に対する環境美化意識の高揚と協力については、環境衛生協議会など地域団体と連携して、啓発や清掃など地域での実践活動を進めていますが、今後も一層の推進が必要です。

市営墓地については、長期的な墓地対策を検討していく必要があります。また、食肉センターについては、より効率的な運営が求められています。

環境基準等適合率の推移



武庫川・夙川の水質(BOD)経年変化



## 基本方針

公害の発生と拡散の防止に努め、幅広い公害対策を推進するとともに、市民、地域団体と連携してまちの美化活動を促進します。

## 主要な施策展開

### (1) 公害の発生と拡散の防止

工場、事業場等の固定発生源については、環境保全協定などにより排出基準、設備基準の遵守の徹底を図り、事業活動による環境への負荷を低減する施設改善を積極的に行うよう指導します。また、自動車などによる移動発生源対策としては、低公害車の導入を積極的に進めるとともに、ノーマイカーデーの普及など啓発活動を行うとともに、関係機関への要望を行います。

### (2) 監視体制の強化

酸性雨の測定や、ダイオキシン類をはじめ内分泌かく乱化学物質（環境ホルモン）など新たな環境汚染物質の測定など、多様化、複雑化する公害の実態を把握し、迅速かつ的確な指導と規制に資するため、監視体制の強化に努めます。

### (3) 水質の保全

公共水域の定期的な水質検査、地下水調査、ゴルフ場排水の農薬調査などを実施し、水質保全に向けた監視に努めます。

### (4) 生活型・近隣型環境問題への対応

建築工事の騒音・振動及び深夜におけるカラオケ、飲食店からの騒音、夜間の花火騒音などについては、法令・条例に基づく指導を行います。風俗営業・性風俗特殊営業対策については、警察など関係機関とも連携して、法令・条例に基づく指導を行います。

### (5) 環境衛生の充実

清潔で快適なまちづくりをめざし、感染症の予防、あき地の所有者の適正管理の促進と指導、公共の場所等への不法投棄防止の啓発、水路を含む地域の清掃活動や美化運動、火葬場・墓地の整備等、食肉センターの運営などに取り組みます。

## 市民一人ひとりの活動

身近な環境美化に関心を持ち、美化活動に協力する。

## まちづくり指標

### < 指標の考え方 >

人の生存基盤である大気や水、土壌の汚染防止や生活環境の保全を図るため、環境基準適合率を重点指標に位置付けます。また、ノーマイカーデーの普及啓発の指標を設定し取り組みを進めます。

重点	指標名	単位	現状値 (H18)	目標値 (H30)	指標方向
	環境基準適合率	%	78.3	100.0	↑
		式	(環境基準適合地点数 / 測定地点数) × 100		
H30目標値の設定理由 平成21年度が達成期限					
	ノーマイカーデー実施に伴うマイカー利用の減少率	%	0.7	2.0	↑
		式	ノーマイカーデーと前週同一日との比較におけるマイカー交通量の減少率		
H30目標値の設定理由 毎年0.1%の向上を目標値に設定					
	わがまちクリーン大作戦	人数	63,395	90,000	↑
		式	美化活動(年2回)の参加者数		
H30目標値の設定理由 活動可能な市民の約2割を目標に設定					

## 主な部門別計画

西宮市新環境計画 【環境局：平成17年4月～平成31年3月】